

アイボール型ネットワーク威嚇カメラ
クイックセットアップガイド

NO:101-400-0273-01
Issue:1.0

注意事項

ご使用前にこの注意書及び取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。本製品を公共の場所に設置する場合は、人目につく場所に「防犯カメラ作動中」などと表示してください。電気製品を正しく使用しないと、火災や重傷の原因となります。

	WARNING 回避しないと軽度または中程度の傷害を引き起こす可能性がある中程度の危険について警告します。
	CAUTION リスクを警告します。これらのリスクを無視すると、デバイスの損傷、データの損失、デバイスのパフォーマンスの低下、または予期しない結果が発生する可能性があります。
	NOTE 追加情報を提供します。

WARNING

- 本製品を設置する際は、設置要件を厳守してください。弊社は、ユーザーがこれらの要件に従わないことによって引き起こされた本製品の損傷については責任を負いません。
- 本製品を設置および使用する場合は、地域の電気安全基準に厳密に準拠し、PSE規格のマークが付いた電源アダプターを使用してください。さもないと、本製品が破損する可能性があります。
- 本製品に同梱されている付属品をご使用ください。電圧が、本製品の入力電圧要件を満たしている必要があります。
- 本製品を電圧の不安定な場所に設置する場合は、電源の焼損を防ぐため、本製品を接地してサージなどの高エネルギーを放電してください。
- 本製品の使用中は、水や液体が製品内に流入しないようにしてください。

予期せず水や液体が製品内に流入した場合は、直ちに製品の電源を切り、すべてのケーブル（電源ケーブルやネットワークケーブルなど）を本製品から取り外してください。

- 本製品に強い光（電球や太陽光など）を当てないでください。イメージセンサーの寿命が短くなる恐れがあります。
- 雷や落雷が頻繁に発生する場所に本装置を設置する場合は、装置の破損を防ぐため、本装置の近くを接地して落雷などの高エネルギーを放電してください。

CAUTION

輸送や保管中の損傷を防ぐため、重い荷物、激しい振動、浸水を選ってください。元の梱包を開封した後、二次梱包や輸送中に生じた機器の損傷は保証の対象外となります。

- 本製品を落下や激しい衝撃から保護し、磁界の干渉から遠ざけてください。また、表面が揺れたり衝撃が加わったりする場所に本製品を設置しないでください。
- 製品の汚れは乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を布に浸し、軽く拭き取って乾燥させてください。

- 換気口を塞がないでください。本製品を設置する際は、本書に記載されている設置方法に従ってください。
- 本製品はラジエーター、電気ヒーター、その他の熱機器などの熱源から遠ざけてください。
- 湿気、ほこりの多い場所、極端に高温または低温の場所、または強い電磁放射のある場所に本製品を置かないでください。
- 屋外に設置する場合は、映像監視に影響を及ぼす回路基板の腐食を避けるため、防虫・防湿対策を行ってください。

- 装置を長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 開梱する前に、取扱注意ステッカーが破損していないか確認してください。取扱注意ステッカーが破損している場合は、カスタマーサービスまたは営業担当者にご連絡ください。取扱注意ステッカーが人為的に破損した場合、弊社はその責任を負いません。

特記事項

- 弊社が販売する完成品はすべて、銘板、クイックセットアップガイド、付属品とともに厳重な検査を経て出荷されます。
- 弊社は偽造品については責任を負いません。
- 弊社は、製品の機能拡張や変更に応じてこのマニュアルを更新し、このマニュアルに記載されているソフトウェアおよびハードウェアを定期的に更新します。このマニュアルの新しいバージョンには、予告なく更新情報が追加されます。
- このマニュアルには、誤植、十分に正確ではない技術情報、または実際の製品と若干矛盾する製品の機能や操作の説明が含まれている場合があります。
- 本マニュアルはあくまでも参考であり、実際の製品との完全な整合性を保証するものではありません。整合性については、実際の製品を参照してください。

NOTE

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

1 開封検査

パッケージを開封して、製品の外観に明らかな損傷がないか確認し、表1-1の品目リストと一致していることを確認してください。

表1-1 品目リスト

部品	数量	備考
アイボール型ネットワークカメラ	1	
クイックセットアップガイド	1	
アクセサリパッケージ	1	
設置位置ステッカー	1	

2 デバイス構造

2.1 デバイスポート

NOTE

デバイスによって、ポート、マルチヘッドケーブル、補助ライトが異なる場合があります。実際の商品をご参照ください。

図2-1 ハードウェアポート

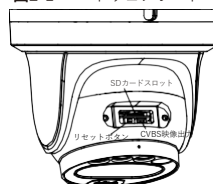


表2-1 ハードウェアポートの詳細

ID	ポート	詳細
1	SDカードスロット	SDカードを取り付けます。 NOTE •SDカードを取り付ける前に、カードが書き込み禁止状態になっていないことを確認してください。 •SDカードを取り出す前に、カードが書き込み禁止状態になっていないことを確認してください。データが失われたり、SDカードが破損したりする可能性があります。
2	CVBS映像出力	アナログ映像信号を出力します。このポートを介してカメラをTVモニターに接続し、アナログ映像を表示できます。
3	リセットボタン	リセットボタンを5秒間長押しすると、元の設定に戻ります。

2.3 補助光の設定

カメラの補助光には4つのモードがあります。

インテリジェントデュアルライト(アラームがトリガーされると、ウォームライトに切り替わり、アラームが解除されると、30秒後に元の補助光に戻ります。)、ウォームライト、赤外線ランプ、なし。

カメラによって異なる補助光のモードを設定できますので、実際のシーンに応じて補助光のモードを設定してください。

- デイモード**：周囲に光源が十分にあるシーンで24時間使用でき、補助光をオンにしても画像がカラーになります。
- ナイトモード**：24時間周囲の光源が不十分なシーンで使用でき、補助光をオンにできます。(4つの補助光のモードを選択できます。)
- 自動モード**：環境の明るさに応じて補助光のモードを自動的に切り替えます。
- タイミングモード**：デイモードの開始時刻と終了時刻を設定します。

図2-2 マルチヘッドケーブル1

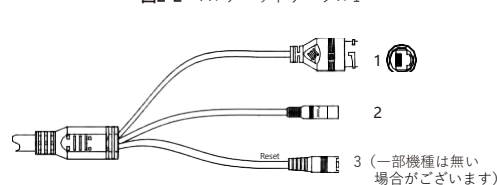


表2-2 マルチヘッドケーブル1の詳細

ID	ポート	詳細	備考
1	ネットワークアクセスポート	標準のイーサネットケーブルまたはPoEに接続します。ネットワーク接続が正常の場合、緑色のライトが点灯します。データが送信されると黄色のライトが点滅します。一部のモデルにはライトがない場合があります。	PoE給電に対応しています。
2	電源アダプター (DC 12V)	DC 12V電源に接続します。	PoE給電の場合は不要。
3	リセットボタン	リセットボタンを5秒間長押しすると、元の設定に戻ります。	

図2-3 マルチヘッドケーブル2

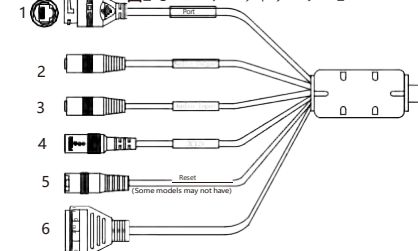


表2-3 マルチヘッドケーブル2の詳細

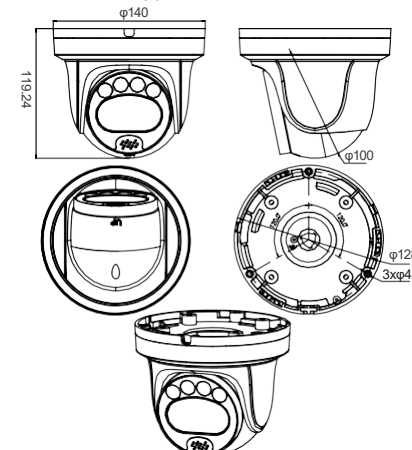
ID	ポート	詳細	備考
1	ネットワークアクセスポート	標準のイーサネットケーブルまたはPoEに接続します。ネットワーク接続が正常の場合、緑色のライトが点灯します。データが送信されると黄色のライトが点滅します。一部のモデルにはライトがない場合があります。実際の商品をご参照ください。	PoE給電に対応しています。
2	音声出力ポート	スピーカーなどの外部オーディオ機器に接続します。	オーディオ機能付きカメラに適用されます。
3	音声入力ポート	集音機器などのデバイスからアナログ音声信号を受信します。	
4	電源アダプター (DC 12V)	DC 12V電源に接続します。	PoE給電の場合は不要。
5	リセットボタン	リセットボタンを5秒間長押しすると、元の設定に戻ります。	一部のモデルに対応しています。
6	G	アラーム出力COM	アラーム機能付きカメラに適用されます。
	OUT	アラーム出力	
	G	アラーム入力COM	
	IN	アラーム入力	

2.2 カメラの寸法

NOTE

デバイスによって、寸法が異なる場合があります。実際の商品をご参照ください。

図2-4 寸法 単位: mm

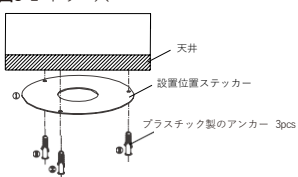


3 デバイスの取付方法

設置手順:

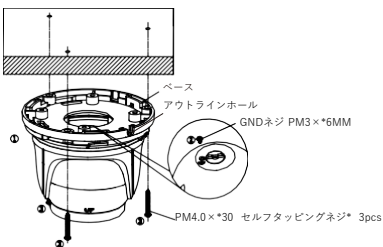
- Step 1 パッケージを開け、カメラを取り出し、カメラのベースを分解します。
- Step 2 設置位置ステッカーを天井または壁に貼り、ステッカーマークに従って3つの穴を開けます。プラスチック製のアンカーを穴に押し込みます。

図3-1 ドリル穴



- Step 3 タッピングネジを使用して、カメラ取り付けベースを天井(または壁)に固定します。
- Step 4 マルチコネクタケーブルを接続します。ユーザーがデバイスをGNDに接続したい場合は、図に示すように、アース線をGNDネジに差し込み、GNDの位置を締めます。
- Step 5 カメラをベースに固定します。図3-2をご参照ください。

図3-2 カメラの取り付け

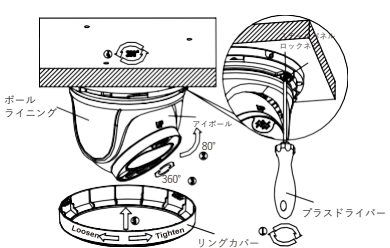


NOTE

ケーブルの配線は、上部または側面から行うことができます。上部から配線する場合は、まず表面に穴を開けます。側面からケーブルを配線する場合、カメラ下部の側面の隙間からマルチヘッドケーブルを配線してください。側面からケーブルを配線する場合、図3-2のように圧縮リングの出口をカットし、カメラ下部の側面の隙間からマルチヘッドケーブルを配線してください。

- Step6 図3-3に示すように、本体を回転させてカメラが監視エリアに向くように位置を調整し、スチールパネルをネジで締めてカメラを固定します。

図3-3 カメラの取り付け



NOTE

カメラの監視角度は、水平回転、上下回転、レンズの軸回転の3軸回転によって調整できます。カメラの方向を調整して、レンズをターゲットに向けます。

- 1 プラスドライバーを使用して、スチールパネルを固定しているネジを緩めます。
- 2 カメラの可動部は0~880°の範囲で上下に回転できます。
- 3 カメラの可動部は0~360°の範囲で左右に回転できます。
- 4 ボールライニングは左右に360°回転できます。
- 5 角度調整後、スチールパネルのネジを締めて、リングカバーをベースの方向に沿って取り付けます。図3-3をご参照ください。

4 クイック設定(例:IE)

4.1 ログイン

- Step1 インターネットエクスプローラーを開き、アドレス欄にIPカメラのIPアドレス(初期値:192.168.1.110)を入力し、Enterキーを押します。図4-1のようなログイン画面が表示されます。

- Step2 ユーザー名とパスワードを入力します。

NOTE

- デフォルトのユーザー名とパスワードは両方ともadminです。システムのセキュリティを確保するため、ユーザーが初めてシステムにログインするときにパスワードを変更してください。
- ログインページでシステムの表示言語を変更できます。

図4-1 ログイン



- Step3 ログインをクリックすると、メインページが表示されます。

4.2 IPアドレスの変更

- 設定 > デバイス > ローカルネットワークを選択すると、ローカルネットワークページが表示されます。図4-2に示すように、IPアドレスのボックスにIPアドレスを入力し、[適用]をクリックします。IPアドレスが正常に設定されたら、新しいIPアドレスを使用してWebインターフェイスにログインしてください。

図4-2 ローカルネットワーク

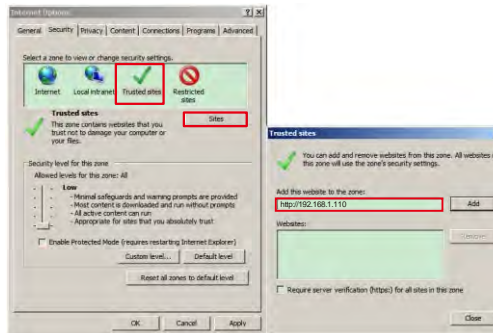


4.3 映像の検索

リアルタイム映像を再生できるようにするには、初めてWebにログインするときに次の操作をする必要があります。ユーザーがすぐにWebにアクセスできる場合は、信頼できるサイトを追加する手順は無視してください。

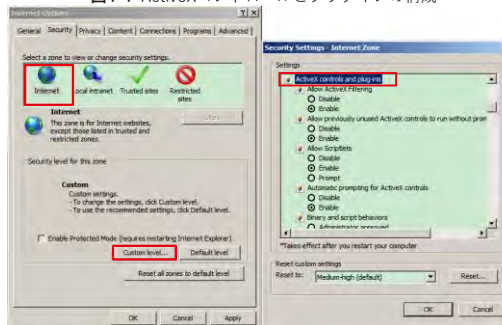
- Step1 ツール > インターネット設定 > セキュリティ > 信頼できるサイト > サイトを選択して、表示ダイアログボックスで[追加]をクリックします。図4-3をご参照ください。

図4-3 信頼できるサイトの追加



- Step2 インターネットエクスプローラーで、ツール > インターネット設定 > オプション > セキュリティ > カスタマーレベルを選択し、未署名のActiveXコントロールをダウンロードし、[ActiveX制御とプラグイン]で、スクリプト実行が安全とマージされていないActiveXコントロールを初期化およびスクリプト化を有効に設定します。図4-4をご参照ください。

図4-4 ActiveXコントロールとプラグインの構成



- Step3 プロンプトに従ってプレーヤーコントロールをダウンロードしてインストールします。

NOTE

コントロールのインストール時に修復ヒントが表示された場合は、プロンプトを無視してインストールを続行し、インストール中にWebページを閉じてください。その後、ページに再度ログインします。

リアルタイム映像を閲覧するには、デバイスにログインし、[ライブ映像]をクリックします。図4-5をご参照ください。

図4-5 ライブ映像



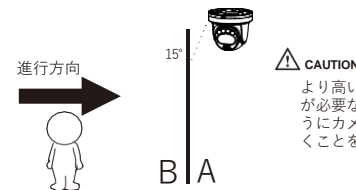
NOTE

キャプチャのパフォーマンスを向上させるには、焦点距離が6mm以上のレンズを使用することを推奨いたします。

1 人数カウント:ユーザーは、年、月、日単位で人数のデータを検索できます。統計はダウンロードできます。データは折れ線グラフ、ヒストグラム、リストで表示できます。

2 AIライブ映像:アイコンをクリックすると、人間の顔またはナンバープレートのスナップショットが表示されます。("Face"または"Plate"をクリックして切り替えます。)下のページには人間と車両のキャプチャ画像が表示されます。

図4-6 人数カウントカメラの設置方法



CAUTION

より高い精度の人数カウントが必要な場合は、図4-6のようにカメラを設置し、線を引くことを推奨いたします。

4.4 インテリジェント分析

[設定 > インテリジェント分析]インターフェイスで、ユーザーは、リンクロス、二重リンクロス、複数徘徊検知、および人数カウントのパラメータを設定できます。図4-7をご参照ください。

図4-7 インテリジェント分析 - リンクロス



表4-1 インテリジェント分析のパラメーター

パラメーター	詳細
有効	インテリジェント分析機能を有効にし、マウスを使用してライブ映像に警戒エリアを描画します。デフォルトのステータスは無効です。
感度	検索対象の感度を1~5から選択します。5が最も感度が高く、対象を検出しやすくなります。
ターゲットタイプ	有効にすると、タイプは人または車/人/車から選択できます。
出力チャンネル	「インテリジェント分析アラーム」のカメラのリレー出力チャンネルをリンクする場合に選択します。
音声検出アラーム	有効にすると、アラームが発生した場合に再生する音声ファイルをユーザーが選択できます。音声ファイルは「設定 > アラーム > 音声アラーム出力」インターフェイスで設定できます。
フラッシュアラーム	有効にすると、デバイスがターゲットを検出すると警告灯が点滅します。
メール送信	有効にすると、ユーザーが電子メールのパラメータを設定した場合、インテリジェント分析アラームが発生した場合にユーザーに電子メールが送信されます。
SMTP	有効にすると、ユーザーがSMTPのパラメータを設定すると、インテリジェント分析アラームが発生した場合にスナップショットがSMTPサーバーに送信されます。
FTPアップロード	有効にすると、ユーザーがFTPのパラメータを設定すると、インテリジェント分析アラームが発生した場合にスナップショットがFTPサーバーに送信されます。
スケジュール	上記のすべてのインテリジェント分析設定の有効時間を設定します。